

## ○ 国定公園化を契機に、公園周辺も含めた広い地域での経済を活性化

- ・地域の魅力を高めることで、御嶽山地域への誘客を促進するとともに滞在期間の長期化を図る
- ・受入環境の整備とともに安全安心のアピールを行い、噴火災害のイメージを払拭する

参考：全国における長野県の国定公園の状況

- ・面積 6位 (81,872ha) → 3位 (100,741ha)
- ・国定公園数5は、北海道と並んで1位

## 自然や歴史文化を楽しめる御嶽山

自然公園の魅力を向上させて、御嶽山地域への観光客の流入、滞留を促進

※**宿泊税 (R8.6～)** を活用した施設等の上質化を実施

### 安全で快適な登山のための受入環境整備 (機能向上)

- ・指定登山道の整備
- ・道標等の統一サイン、多言語化

宿泊税活用

信仰登山の歴史を感じることができる「御嶽古道」の活用  
インバウンドに人気のトレッキングといったアクティビティで誘客を図る

山麓から御嶽山の雄大な姿を眺めるための視点場を整備  
(田の原湿原及び開田高原)

- ・眺望確保の景観整備
- ・デッキの整備、ベンチ(県産材)の設置

宿泊税活用



開田高原側からの眺望

### 通年楽しめるよう、スキー場の夏季利用を促進

- ・グリーン期の自然体験アクティビティの充実



### バラエティに富んだ自然体験メニューを用意

- ・自然体験活動の受入体制の整備
- ・ガイド付きの限定ツアーなど



快適で利用しやすい山小屋となるために受入環境を整備

安全な利用

### 御嶽山ビジターセンターを活用した防災意識の向上と安全安心のアピール

- ・自然保護や防災の啓発
- ・御嶽山火山マイスターによる防災教育や自然体験学習



自然環境保全

### 御嶽山の自然環境を守り、御嶽山の価値を守る

- ・特別保護地区の設定による保護の強化
- ・ライチョウ保護 (R8年度は岐阜県と連携して生息数調査を実施)
- ・田の原湿原を再生し、植生の維持

誘客

### 歴史・文化等の地域資源を活用した周遊観光の促進・PR

山岳信仰や木曾漆器等の文化的な特徴を生かした周遊観光を促し満足度を向上

地元関係者と連携した誘客等の利用促進策

### 御嶽山国定公園指定記念事業 長野県実行委員会 (R8年度)

会長：王滝村長 副会長：木曾町長 顧問：長野県知事  
委員：長野県環境部長、危機管理部長、観光スポーツ部長、木曾地域振興局長、木曾観光連盟、木曾町商工会、(一社)木曾おんたけ観光局、御嶽山火山マイスターネットワーク

- ①国定公園指定記念式典 ②周遊施策・広報関連事業

## ○ 国への要望事項

➔受入環境整備のための自然環境整備交付金の増額等、財政的支援の強化を ※春の国施策要望でも要望する予定